

● 東海コープグループ ●
2015 年理念・ビジョン
 〈ダイジェスト〉



せ



い



か



つ



み



る



あ



ん



し



ん



が



な



つ

東海の豊かな自然と、
 人と人のつながりを大切にします

表紙・裏表紙の写真の紹介

- み** もだに農園（高山市）のりんご。毎年産地交流会が開かれる。
- る** 奥三河 豊根村の富山地区から県境の佐久間ダムを望む。
- い** コープエコファミリー「秋の里山フィールドワーク」（津市柏原学習林）
- に** 鳳来の梅の産地で。急斜面に梅の木が並ぶ（新城市）。

- つ** 藤前干潟（名古屋市区）で初日の出を望む。
- な** 松名瀬干潟（松阪市）には、絶滅危惧種とされているハマボウが群落する。
- が** 赤須賀漁業協同組合（桑名市）木曾三川の河口でしじみ漁。川の環境を整えるために上流の岐阜県白川村と協力して植林などを行う。
- る** 恵那の郷土料理「するめのこうじ漬け」をつくって交流

- あ** 親子で稲作体験。かかしづくり JAひまわりにて。
- せ** レンゲ畑（大垣市）。米づくりのための大切な緑肥となる。
- い** コープいぬやま「上伊那をたべよう」上伊那の産直米でおにぎりをつくる。
- か** 農事組合法人・光輪（南知多町）で大根の収穫体験。
- つ** 紀伊長島町にて。

未来につながるあんしん生活

2015年理念・ビジョン（案）

東海の豊かな自然と、人と人のつながりを大切にします

もくじ

- 東海コープグループ理念・ビジョンとは…………… 2
- 理念・ビジョンに込めた想い…………… 3
- 東海コープグループとして2015年に実現していきたい姿
- 商品…………… 6
- 共同購入・店舗…………… 7
- たすけあいと協同の事業・組合員参加…………… 8
- 職員・東海コープですすめている取り組み…………… 9
- わたしの声・みんなの声…………… 10
- 東海コープグループの歴史と未来…………… 11

東海コープグループ理念・ビジョンとは

東海コープグループの“理念”は、東海3生協（コープぎふ、コープあいち、コープみえ）と東海コープ事業連合がともに掲げる“共通の理念”であり、力を合わせて実現をめざすものです。また、同時に東海地域で暮らす組合員や生産者、消費者など多くの人々や地域社会に対し、ともに実現することを呼びかけるメッセージです。

“ビジョン”は、将来の見通しや構想、未来へめざす姿を表します。東海3生協の求心力を引き出し、めざすべき方向性を示し、私たちが共有するスローガンです。

一人ひとりの消費者がくらしの願いを実現するために、手をとりあって生協をつくってきたように、私たち東海3生協と事業連合は、東海コープグループとして、より多くの組合員の願いや地域社会の期待に応えるために、食の安全を第一に、ふだんのくらしに役立つ事業を確立します。そして、組合員の多様な参加による社会に開かれた組織づくりをすすめ、消費者組織としての役割をさらに発揮し、地域社会に貢献できる存在をめざします。

グループの3生協のDATA 2010年3月現在

組合員合計 …… 71.3万人 総事業高合計 …… 1,035億円

コープぎふ

設立※1	1999年3月21日
理事長	川崎 直巳
本部所在地	岐阜県各務原市
組合員数	20万人
総事業高	259億円
共同購入事業	205億円
店舗事業	53億円
福祉事業	1億円
出資金	38億円
事業所	センター 11 店舗 6 福祉事業所他 4
職員数合計	1,258名
職員数	308名
定時職員数	950名

コープあいち

設立※2	2010年3月21日
理事長	寺本 康美
本部所在地	愛知県名古屋市
組合員数	38万人
総事業高	551億円
共同購入事業	407億円
店舗事業	99億円
福祉事業	17億円
出資金	83億円
事業所	センター 20 店舗 20 福祉事業所他 38
職員数合計	3,297名
職員数	770名
定時職員数	2,527名

コープみえ

設立※3	2003年3月21日
理事長	茂木 穂
本部所在地	三重県松阪市
組合員数	15万人
総事業高	186億円
共同購入事業	181億円
店舗事業	3億円
福祉事業	0.1億円
出資金	28億円
事業所	センター 11 店舗 2 本部 1
職員数合計	504名
職員数	228名
定時職員数	276名

東海コープ事業連合

設立	1994年2月12日
理事長	寺本 康美
本部所在地	愛知県名古屋市
物流センター	6
検査センター	1
職員数合計	675名
職員数	170名
定時職員数	505名

※1 コープぎふは、岐阜地区市民生協（73年）、飛騨生協（63年）、岐阜消費生協（71年）が合併し、設立されました。

※2 コープあいちは、めいきん生協（69年）、みかわ市民生協（74年）が合併し、設立されました。

※3 コープみえは、三重県民生協（73年）、みえきた市民生協（81年）、伊勢消費生協（74年）、みやがわ生協（73年）が合併し、設立されました。

理念・ビジョンに込めた想い

理念・ビジョンの検討にあたって、東海3生協の総代のみなさん（約2,000名）や、東海コープグループで働く全ての役職員（約6,000名）で、2015年になってほしい姿をイメージして、「未来」「つながる」「あんしん」をキーワードに想い・願いを寄せ合い、その中身を深めてきました。今回提案している「未来につながるあんしん生活」という言葉には、次の想いを込めました。

未来につながる

環境、福祉、子育て、平和の取り組みなど、今私たち東海3生協の組合員が行っていることは、全て未来につながっており、それはこれからも変わらぬこととして大切にしていきます。



子育てひろば

子育て中のお母さんが集まって、子どもを遊ばせながらおしゃべり。子育てを一緒に…そんな取り組みが広がっています。



家族でエコエピソード

家族で環境や平和のことを考え、語り合う多彩な取り組みを広げていきます。写真）夏休みに松阪市松名瀬干潟を探索しました。



お店の仕事を体験

コープぎふで行われた「子ども店長」体験の様子。お客様が買い物しやすいように商品を並べてみました。



少年少女ヒロシマの旅

「子どもたちに平和と命の大切さを伝えたい」そんな願いを込めて、東海コープグループの生協合同で取り組んでいます。



食育の取り組み

組合員が健康クッキングやキッズクッキングなど、様々な料理教室や講座を開催。子どもから大人まで、食育の場になっています。



協同の取り組みを広げて

外国人の健康チェックを地域の方々や協同で行いました。地域づくりの担い手としての期待が高まっています。

つながるあんしん

人と人とのつながり、地域でのつながり、組合員どうしのつながりなど、生協でのつながりを大切にしていきます。

「つながり」のかたちは無限にあります。生協の場を通じた「つながりづくり」を大切にしたいと考えました。人間関係が希薄になり、地域でのコミュニティの崩壊が危惧されている今だからこそ、人と人とのつながりを、もっと地域の中で広げていきたいとの願いを込めました。

人と「つながる」とは、自分の存在を確かめることであり、人とのつながりを大切にすることは、一人ひとりを大切にすることと、考えます。

「くらしたすけあい」 組合員どうしが支えあい、たすけあう活動に取り組んでいます。

●こんなことも…下校のお手伝い

「軽い知的障がいのある娘が、病気で車椅子生活を強いられることになった時は、目の前が真っ暗になりましたが、たすけあいの会のお陰で娘も安心して元気に通学しています。人と交流する機会の少ない娘にとって、協力会員さんとの出会いやふれあいは、とても貴重な経験とともに大切な時間です。(日進市 組合員)」

写真 協力会員(大学生)と娘さん▶



お弁当を届けて

組合員ボランティアグループが、お弁当の配達をしている地域があります。「ありがとう」の笑顔が心をつなぎます。



「コープぎふの森・関」

関市、白山神社の所有する6.53ヘクタールの森林を対象に、コープぎふ・関市・中濃森林組合・岐阜県の4者により2月15日に「コープぎふの森・関」における協定を締結しました。



田んぼ体験をひろげて

田植えからかかしづくり、稲刈りまで。親子で「田んぼ体験」が好評です。写真) JA いがほくぶ かかしづくり

東海の豊かな自然と、人と人のつながりを大切にします

私たち東海3生協の組合員の暮らす東海地域は、海・山・川など豊かな自然に恵まれており、多種多様な産物が生産・収穫されています。生協の発足当時から現在に至るまで、多くの生産者やメーカーの方々に、商品づくりや商品活動への協力をいただきながら、東海でのつながりを広げてきました。これまで大切にしてきた産消提携活動や、顔の見える関係を大切に、これからも組合員、生協、生産者・メーカーで支えあっていくことが、食料自給率の向上や、地域の自然環境の持続にもつながると考えます。

●田んぼ体験した子どもの感想…「びっくりした！」……

「さいしょはあるくのがたいへんでむずかしかったけど、なれてきたら、とても楽しくなりました。家でごはんがでるときに、のこさず食べたいです。またやりたいです。(小学生)」

あんしんな生活(くらし)

今以上に、将来に向けた「あんしん」な生活(くらし)を、東海3生協の組合員の「つながり」の力により実現していきたいと願います。



ユニセフ募金

地域のみなさんと協力しながら、世界の子どもたちのためにできることに取り組んでいます。

写真) 高校生もいっしょに活動募金



配達現場が交流の場に

週に一度共同購入配達の日がみんなのおしゃべりタイム。写真) 豊根村郵便局にて

地域のみなさんとふれあう場に

ちょっと立ち寄って、気楽に参加。そんな地域のたまり場づくりもはじまっています。写真) ふれあいサロン桜並木



福祉活動等にとりこむ団体への援助

地域とのつながりを大切にする社会貢献活動のひとつとして、希望する団体に援助金をお渡ししています。

写真) NPO 法人ワンハート



店舗で 地元野菜のコーナー

生産者の顔が見える売場をつくっていきます。



「しらぬひ」生産者のみなさん(熊本県・田浦マルタ)



子どもたちが乳搾りを体験。

「栽培自慢」東海コープ独自の生産者応援の取り組み

東海コープグループが進める「栽培自慢」の取り組みは、10周年を迎えました。2010年2月に、全国の生産者に参加いただき、10周年のつどいを開催し、これまで一緒に取り組んでこられた生産者のみなさんへの感謝と、引き続き、栽培自慢の取り組みを広げていくことを確認しました。

「はぐくみ自慢」の商品をもっと伝えたい

肉や牛乳、卵などの産直商品をおすすめする機会を増やしていきます。

写真) コープ大高インター 精肉売場にて

東海コープグループとして 2015年に実現していきたい姿

声を活かす

改善や企画にも組合員の声を活かしていきます。



組合員の声で商品づくり

東海3県の産物を原料に、また地元のメーカーと協力して商品をつくっています。



生産者との交流・たしかな品質が自慢
自慢の商品をこれからも大切に育てていきます。



いつものくらしに役立つ商品

「とうもろこしのオーナー」子どもたちが収穫。とれたては甘くておいしい!



利用しやすく、くらしを支える 共同購入事業を実現します!

- 東海三県の隅々にまで、商品や情報をお届けできるようにします。
- より多くの方へ利用の輪を広げるために、共同購入のしつみを改善します。
- 共同購入事業のしつみや、運営の改革・改善を進め、効率化を進めます。



組合員とのコミュニケーションを大切にしていきます。

東海三県のくらしのパートナーとして 山間地から離島まで商品を届けています



白川郷での配達風景。



市街地で配達するトラック。



答志島(鳥羽市)に向かう船に商品を積み込みます。

商品の安全、そして、 おいしさ・楽しさ・安心を追求します!

- 安全のレベルを更に高め、“コープの商品は安心して利用できる”と
言ってもらえるようになっていきます。
- 利用していただいた商品への声を生かしていくことを大切にします。
- 商品を通して、おいしさ、楽しさを提供しています。



科学の目と人の目と... 商品安全検査センター

独自の検査設備をもって、微生物、残留農薬、食品添加物などの検査を行っています。検査の結果を公表、問題があれば生産者・メーカーにフィードバックしています。



商品で楽しい食を応援

生産者・メーカーと交流しながら、商品の使い方を学ぶ機会を大切にしています。
写真) 親子でウインナーの飾り切り体験。

くらしサイズに
合わせた商品



「わたしがほしい商品」がいつもある店舗で “くらしのあんしん”をサポートします!

- 地域のふだんのくらしをまかなえ、その地域で一番に支持される店舗にします。
- 東海コープグループで、知恵と力を合わせて店舗出店と運営をすすめます。



組合員の要望に応じて品揃え お買物をサポート



サービスカウンターは、組合員とお店スタッフをつなぎます。お買物の相談から、共済申し込みの受付まで、コープの窓口です。

写真) コープ諏訪シニアデーの取り組み。困り事がないか、組合員に声をかけています。

たすけあいと協同の事業を広げ、組合員の期待に応えます!



- 安心して暮らし続けられる地域づくりに貢献できる福祉事業を広げます。
- 共済の活動を広げます。
- くらしのサポート事業に共同で取り組みます。



地域づくりの柱となる

福祉事業に先進的に取り組んでいる、コープあいちの三河エリア。施設で地域との交流会も行っています。写真) デイサービス・コープ新川 芋煮会



くらしの安心 コープ共済で

少ない掛金でたしかな保障、先天的な疾患がある場合も加入できる(例外有り)共済を広げていきます。写真) 店舗職員が組合員におすめ



住まいの相談

住まいについての相談から、リフォーム・新築まで幅広く対応していきます。写真) 住まいの相談会

夢いっぱい協同の輪を

健康なくらしづくりをコンセプトにした南生協病院の中に、大学生協とも協力してレストランをつくり運営しています。



様々な場面での組合員参加を広げていきます!

- 利用している商品やサービスを通して、たくさんの声をいただくことで参加の場を広げていきます。
- 総代がくらしからの声や願いを持ち寄って、意思決定に参加・参画していきます。
- 地域毎の活動、取り組みを大切にしながら、東海に取り組みの輪を広げます。



環境を考える取り組み「キャンドルナイトと星空観察」(松阪市)



りんごの産地と交流(高山市もだに農園)



使用済み油をつかった再生原料で動くトラックを導入。環境に配慮した取り組みを大切にしています。



20万人の声を集めて、めいきん生協とみかわ市民生協は合併しました。

組合員から期待され、感謝される職員をめざします!

- 組合員の声に応え、くらしの願いの実現に貢献できる職員をめざします。
- 自らが考え行動できる職員、意欲を持っていきいきと目標をやりきる職員をめざします。
- 他人への配慮と社会的責任をはたし、地域社会に貢献する職員をめざします。

●職員への「ありがとう」の声

*組合員になって2カ月過ぎましたが、商品が届くまでの人と人のつながり、生産者、加工する人、コープの人、配達の人、一つの商品にも多くの人の作業が込められて感謝して食しています。食べられるだけ注文し、余分にしないがエコに!
*毎回雨・風の日にもかかわらずきちんと配達していただいている事にとっても感謝しております。特に我が家はトラックから玄関までの道のりが遠く、坂道ですので申し訳ないと思っております。今後もお世話になりますが、よろしく願い致します。



職員の研修を大切に

産地に行き、生産の現場を体験しています。生産者の苦労や商品のよさを実感します。



福祉事業を支える職員。

東海コープグループですすめている取り組み

●人が支える共同購入の物流

配送センターでは、早朝よりその日配達する商品を積み込みます。間違いがないように細心の注意を払い、次々と商品をトラックに運びいれます。



●東海コープ安全運転センター

「運転実技研修や、運転教育に関わる業務」と「損害保険代理事業、生命保険募集に関する業務」を行っています。東海3生協と事業連合の関連会社です。



安全運転センター主催の交通安全フェスティバルで

●地域と協同の研究センター

地域における協同や協同組合についての調査・研究、研修・交流などをすすめるためにつくった研究組織です。幅広い市民・団体の参加で、地域のくらしや働くこと、コミュニティのことなどを、学び語り合っ、まちづくりや地域での協同がすすむように活動しています。



2010年第6回東海交流フォーラム



わたしの声 & みんなの声

子どもの成長が楽しみ

●子どもも高2、小6となり大分手がかからなくなってきているでしょう。いえ、私の手伝いもかなりしてくれて（女の子2人なので）とっても私は楽かもしれないなあ…。3人でワイワイ料理をしたり、好きなお菓子作り、手芸、買い物…楽しみです。生活も今よりちょっと余裕ができていいなあ。

●小学生になっている長男と、もう一人子どもがいて、二人の子育てと仕事、家事に追われているのかなあと思っています。やっぱり、忙しく暮らしていると思うので、生協の利用が増えていると思います。きっと子どもが産まれたら、食の事など改めて考えると思うので、産地見学や勉強会など積極的に参加したいと思っています。

家族が元気で健康がいっぱい

●これからはなるべく手作りの料理を増やしてメタボにならないようにしたいです。足腰も鍛え、元気でいられたらいいですが、たすけあいに入っているの、いざと言う時は心強いです。生協はもちろん続けていると思います。

●健康を維持する為にも献立を工夫してできる限り手作りで和やかな食生活を送れる事が一番の願いです。毎回注文書についているレシピは非常に役に立ち楽しみにしています。

わたしの成長

●若い人が希望を持って生活できる社会になっているといいなあ。私も少し余裕ができて、地域の為に何かできるようになりたい。家族の健康と地球の環境の事もずっと考えていきたい。

●私は今と変わらないことを願うのですが・・・生協に協力できるといいなあと思います。日々を感謝して生きていける人間に成長したいです。

たくさんの想いや願いが原動力

●やっぱり生協で誰かと何かとつながってたいです。東海コープグループになることで、三重や愛知の組合員どうしも交流が持てたらいいなあ。

●地域で小さい子どもから高齢者まで集まれる場があればいいなあと思います。そこでは、共同購入の場もあり、おしゃべりの場でもあり、手作りの教えあいをしたり。人間関係が希薄になりつつある現代では、地域での繋がりの重要性が求められています。生協の組合員に限らず、地域の人たちが自由に入出入りできる場が欲しいです。

●必ず今より充実した暮らしになるように…と願い、行動しています。5年後というよりも、娘の代まで生協が続き子どもも利用できるような（安全・安心な）健全な組合であり続けていたきたいです。



食の安全がいっぱいね

●安全で安心なものを（食品）使っていきたい。（輸入のものでも）裏の表示を見なくても食べるものに神経質にならなくてもいいように…

●5年後は子どもも成人して、きっと主人と二人になるのかな？二人前で食べられる量のものが増えるといいかな？今日、生協商品でほとんど過ごしていますとの声を聞きました。私も今後、生協商品で過ごしていただけるといいなあと思いました。今後も安全な商品づくりを続けて欲しいと思います。



●子どもも5歳半になっていて、食べ物の好き嫌いも立派にあることでしょう。そんな時、生の野菜の「あまみ」を実感させてやりたいです。それも、他県のものではなく、三重の人が三重の土と水で作った野菜や肉、お米などが身近で手に入るくらしを望んでいます。地元のお店、農家さん！これからも“美味しい”を届けてください。お願いします！

老後のあんしん

●主人が退職しますので2人+ペットの生活です。共同購入の分量が多い場合はペットと一緒に何とか消化していましたが、余る様になると思います。少量企画をお願いします。



●老後も心配だらけだけれど「くらし助け合い」も発展させておこなうては…

●義母はどんな食事が食べられるだろうか？いろんな世代がおいしく食べられる物が生協で買えるといいですね。

●地域でこの年代で頑張れる役立つ事を身近な所から見つけ、助け合う生活ができるといいなあと思います。

地域のみなさんと

●地域活動にいくつも参加している現在、街づくり活動を通して様々な方々と交流でき、充実した日々です。厳しい現実と向かいあう中で、こころざしの同じような方々と話し合うのは楽しいです。生協の良さもあちこちで語りながら、きっと5年後も衣食住や共済その他で生協と繋がっていると思います。（これまでと同様に）



あんしんできる社会に



●平凡にその日その日が元気で暮らせたら幸せだと思います。世の中に対しては、もっと弱い者に対して優しい政治や制度ができる事を希望します。これから少しでも、そういう社会に近づくよう努力しなければいけないですね。

●5年後は地球温暖化で農作物の生産もどうなるか心配です。食糧自給率も上げておかないと・・・でも作ってくださる人があるのかどうか。今のうちに生産者と消費者がきちんと話し合っておかなくてはいいけない。

●平和でなければ何事も始まりません。平和の運動をもっと広くアピールしていけたらいいなあと思います。常に弱者の立場に立つ!! そんな理念が根付く生協であって欲しいです。

東海コープグループの歴史と未来

東海コープグループの歩み		世の中の動き
1990年	6月 コープ東海事業連帯準備機構発足	イラク軍クウェート侵攻
1991年	5月 会員生協総代会で「事業連合の設立、加入」決議	湾岸戦争勃発
	10月 組合員証（メンバーズカード）の発行	バブル景気が終焉する
1992年	5月 東海コープ共同事業センター（事業連合準備会）発足 情報システム事業の統一、店舗物流事業一部実施	
1993年	4月 共同購入物流事業の統一、桑名物流センター竣工・稼働	
	8月 共同購入商品事業の統一開始	欧州連合（EU）発足
1994年	2月 東海コープ事業連合設立総会	O-157の発生拡大
1995年	1月	阪神淡路大震災
1996年	10月 共同購入事業「商品・企画・注文書の統一」開始 共同購入代金の自動引き落とし開始	消費税増税
1997年	4月 店舗ドライ商品統一物流開始	
1998年	2月 個人商品案内書（注文書）開始とその用紙の回収・故紙再生実施	長野オリンピック開催
1999年	3月 生活協同組合コープぎふ発足	
	4月 農産物流センターの稼働	
	5月 冷凍物流センター稼働	
	10月 コープぎふインターネットによる注文実験開始	2000年問題とミレニアムカウントダウン
2000年	8月 「栽培自慢」「nonGMO表示変更」表示スタート	介護保険制度が始まる
	9月 小牧物流センター竣工・稼働	
	11月 新商品検査センター開所・稼働	
2001年	3月 注文電卓Ⅲの導入	
	6月 冷凍小牧物流センター開所・稼働	アメリカ同時多発テロ事件発生
	11月 パンセット物流センター開所・稼働	アメリカのイラク攻撃
2002年	2月 アレルゲン表示、飲料・菓子カロリー表示開始	
	9月 新ボイスシステム稼働	日韓ワールドカップ開催
	10月 OCR注文用紙導入	
2003年	3月 生活協同組合コープみえ発足	
	4月 商品情報システム稼働	
	7月 第一次中期計画（2003年～2005年）策定	社会保険の医療費負担3割に引き上げ
2004年	3月 栽培自慢・食品添加物基準の改定	
	9月 桑名要冷物流センター開所	
	10月 家庭用品の翌週配達化実施	新潟県中越地震発生
2005年	1月 カタログ「くらしと生協」インターネット注文開始	
	11月 新予約注文システムスタート	中部国際空港開港 日本の人口が初めて減少
2006年	6月 第二次中期計画（2006年～2008年）策定	
	11月 東海コープ新PB商品政策の策定	
2007年	3月 東海コープグループ理念・ビジョン検討スタート	団塊世代の大量定年退職始まる（2007年問題）
	9月 視覚障がい者向け「声ログシステム」の導入	
	10月 コープ電話注文センターの開設・OCR注文システムへの移行	
2008年	6月 第2回東海コープグループシンポジウム	中国製餃子中毒事件発生
	9月 第3回東海コープグループシンポジウム	
	10月 共同事務センター開設	
2009年	2月 理念ビジョン4生協合同検討会開催	消費者庁の発足
	9月 お問い合わせ管理システム（クイックプロ）導入 東海コープ別積み仕分けセンター稼働	
2010年	3月 生活協同組合コープあいち発足	
	6月 東海コープグループ 理念・ビジョン決定	

『東海コープグループは、組合員数 100 万世帯のグループに成長します』